

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 2年 2月 13日

事業所名:放課後等デイサービス「すまいる」

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		雨天時、他事業の利用者の降所後、食堂や廊下など使用。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○	○ (バリアフリー化について)		2階が活動室。車椅子使用の利用者が開設以来いなかったもので、現時点では問題なし。今後課題となる可能性は有り。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		畳スペースを設け、リラックス出来る空間作り。	一人ひとりがゆったりと好きなことを楽しめる環境作りの工夫、及び個々のチャレンジを探っていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		出勤直後、短時間のミーティングを実施。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		連絡ノートを活用。	送迎時等、時間の許す範囲で保護者から直接聞き、参考にする。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			30年度より実施。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		実施しておらず、今後の課題。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修担当者と連携しながら実施。自己啓発の部分は弱いので課題。
適切な支援の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		使用していない。
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			職員間で日々の支援での振り返りを大切に、それを計画に落とし込む。
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○			実際の場面での支援が出来ているか、職員間でチェック。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		季節的な活動は気が付けば似通っていることもある。
	16	(放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		特に学校の長期休暇時は、保護者にも希望を聞く。	活動計画は工夫しながら、個々の課題を職員間で共有。

提供	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			週単位の活動の中に、両方をバランスよく計画。
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			出勤後、短時間ではあるが、必ず時間をとって最小限の打ち合わせを実施。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			会議的な場は持っていないが、雑談の中で大きく変わったことは報告し合うようにしている。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			十分とは言えないが、記録で残すようにしている。
	21	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			内容的には大きく変わっていない。
	22	(放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○			十分とは言えないが、実施。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○		今のところ、担当者会議は開かれていない。
	24	(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか				
	25	(放課後等デイサービスのみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校への送迎時、担任教諭とも情報交換を行う。特に問題なし。
	26	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	27	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか				
	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか				
	30	(放課後等デイサービスのみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		就学前までさかのぼって、情報を得ることは今までのところ必要なし。
	31	(放課後等デイサービスのみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			問い合わせがあった場合は、保護者の承諾のもと、提供。
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		横の連携では、必要に応じ対応したいと考えるが、今のところなし。

	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか				
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○		中々調整が取れず、参加出来ていない。
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○		十分とは言えないが、送迎時等利用し、様子を伝え、何でも伝えあえる関係作りを大切にしている。
	36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		デリケートな側面が有り、特に若い職員は年上の保護者に対しての対応に戸惑い気味。今後の課題。
保護者への説明責任等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○		
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか		○		
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○		定期的に相談に応じるのは、難しく実施出来ていない。
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		出来ていない。学校での繋がりががあるので、そこについて頼ってしまっている。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか		○		相談支援員とも連携しながら進めていきたい。
	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		放デイの活動予定表や法人の便り等、定期的或いはその都度、配布。
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか		○		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○		担任教諭や又、家族からコミュニケーションの方法や特性を聞く等。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		年に一度のイベント開催や日常的には併設の販売所を開く等、実施。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		担当者中心に計画し、内容により消防署や警察の協力のもと全職員、利用者で実施。(日程により参加出来ない)
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		同上
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか				現在、対象者なし。居れば出来得ることで対応。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○		
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○		研修担当者を中心に実施。

	52 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			
--	---	---	--	--	--

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。